

# 中期計画(2026~2029)(案)の設定指標一覧

資料4

中期計画(2026~2029)の「第3章 施策及び取組」に掲載されている指標の一覧です。

取組	指標名	素案から の追加 指標	解説	指標値		摘要
				R6実績	R11目標	
取組2 水道水の水質管理	水道水質基準適合率		水質基準値を満足した給水栓での検査回数／水道法に基づく給水栓での全検査回数×100(%)	100%	100%	
取組3 工業用水の水質管理	工業用水水質目標達成率		川崎市工業用水水質目標値を達成した測定回数／工業用水道事業法に基づく全測定回数×100(%)	100%	100%	水温については自然影響が大きいため達成率から除く。
取組6 <b>重点</b> 水道・工業用水道管路の更新	基幹管路の更新		計画期間内に更新を完了する基幹管路の路線数	— (R7年度～)	2路線完了	老朽化対策を目的として既に耐震化されている管路の更新を行うものであり、耐震化率は向上しない。
	小口径管路の更新(水道)		計画期間内における小口径管路の更新延長	41.9km/1年	140km/4年	
取組7 <b>重点</b> 水道・工業用水道施設の更新	施設の更新・長寿命化		計画期間内に更新または長寿命化工事を完了する配水池・配水塔数	— (R6年度～)	2施設完了	
取組8 <b>重点</b> 下水管きよの再整備	管きよ再整備率(管きよ再整備重点地域)		再整備実施延長／再整備対象総延長×100(%) ※再整備対象総延長は556.6km	39.0%	45.5%以上	再整備対象：入江崎処理区及び加瀬処理区の一部 事故発生時に社会的影響が大きい大口径下水管きよ：口径2m以上かつ30年以上経過
	損傷リスクが高い大口径管きよの老朽化対策		健全性を確認した下水管きよの延長／損傷リスクが高く、事故発生時に社会的影響が大きい大口径下水管きよの延長×100(%)	— (R7年度～)	100%	
取組10 <b>重点</b> 水処理センターなどの再構築	入江崎総合スラッジセンター1系焼却炉の再構築	●	入江崎総合スラッジセンター1系焼却炉の再構築実施状況	— (R3年度～)	完了 (R8年度)	
	大師河原ポンプ場(汚水)の再構築	●	大師河原ポンプ場(汚水)の再構築実施状況	— (R2年度～)	完了 (R10年度)	
取組11 <b>重点</b> 水道・工業用水道管路の維持管理	地下漏水調査延長(水道)	●	小口径管路における地下漏水調査延長 ※対象水道管路延長は約2,200km	790km/1年	3,200km/4年	
取組14 <b>重点</b> 下水管きよの維持管理	下水管きよの清掃・点検実施延長	●	下水管きよの清掃・点検実施延長 ※対象下水管きよ延長は約1,770km	506km/1年	1,770km/4年	

# 中期計画(2026~2029)(案)の設定指標一覧

取組	指標名	素案から の追加 指標	解説	指標値		摘要
				R6実績	R11目標	
取組16 <b>重点</b> 水道管路の耐震化	消防署・警察署等の重要な施設への供給ルート 耐震化完了率		供給ルートの耐震化が完了した重要施設数 ／重要施設の総数×100(%) ※重要施設の総数は99施設	41.4%	100%	
	緊急輸送道路下管路の耐震化率		緊急輸送道路下管路のうち耐震化された延長 ／緊急輸送道路下管路の総延長×100 (%) ※緊急輸送道路下管路の総延長は約 440km	60.9%	66.4%以上	
	基幹管路の耐震化		計画期間内に更新・耐震化を完了する基幹 管路の路線数	— (R6年度～)	5路線完了	
	管路全体の耐震化率		耐震化された管路延長／管路の総延長 ×100(%) ※管路の総延長は約2,560km	44.1%	51.2%以上	
取組17 <b>重点</b> 水道・工業用水道基幹管路の強化	基幹管路の強化(水道)		計画期間内に完了するバックアップ機能強 化のための管路整備路線数(水道)	— (R5年度～)	3路線完了	
	基幹管路の強化(工水)		計画期間内に完了するバックアップ機能強 化のための管路整備路線数(工水)	— (R5年度～)	3路線完了	
	工業用水道の送水管事故時のバックアップ率		事故時に送水可能な水量／1日最大給水量 ×100(%) ※1日最大給水量は37万m <sup>3</sup> /日	87.8%	100%	
取組18 <b>重点</b> 下水管きよの耐震化	重要な管きよの耐震化率		重要な管きよの耐震化完了延長／重要な管 きよの延長×100(%) ※重要な管きよの延長は863km	86.4%	89.0%以上	
	汚泥圧送管の耐震化		耐震化が完了した汚泥圧送管の路線数	— (H27年度～)	2路線完了 (R8年度)	
取組19 <b>重点</b> 水処理センターなどの地震対策	ポンプ場の汚水揚水機能の確保	●	地震時の汚水揚水機能の確保が完了したポン プ場数	7施設完了	9施設完了	
	水処理センターの消毒機能の確保	●	地震時の消毒機能の確保が完了した水処理 センター数	2施設完了	3施設完了	
取組20 水道・工業用水道施設の地震対策	燃料貯蔵容量の確保		計画期間内に燃料貯蔵容量の増強が完了す る施設数	— (R7年度～)	6施設完了	

# 中期計画(2026~2029)(案)の設定指標一覧

取組	指標名	素案から の追加 指標	解説	指標値		摘要
				R6実績	R11目標	
取組21 <b>重点</b> 重点化地区などにおける浸水対策	重点化地区の対策実施率		重点化地区の浸水対策完了済面積／浸水対策重点化地区対象面積×100(%) ※浸水対策重点化地区対象面積は2,370ha	30.6%	38.7%以上	
	排水樋管周辺地域の対策		対策の実施数 (床上浸水解消済面積／床上浸水面積×100(%))	7対策 (床上浸水面積65.2%解消)	11対策 (床上浸水面積99.5%解消)	対策の実施数は、排水樋管周辺地域における短期、当面、中期対策(計11対策)の実施数
取組22 水処理センターなどの耐水化	水処理センター・ポンプ場の耐水化率		災害時の施設浸水対策が完了した水処理センター、ポンプ場数／水処理センター、ポンプ場数×100(%)	70.8%	100% (R10年度)	
取組23 <b>重点</b> 災害対応能力の強化	局訓練・研修後のアンケート調査結果による理解度	●	理解度向上者数／アンケート回答者数×100%(年平均)	95%	90%以上	
	年間訓練実施回数	●	応急給水及び応急給水拠点開設訓練(委託含む)、排水樋管周辺地域における浸水対策訓練の実施回数	58回	40回以上	
取組24 <b>重点</b> 防災・減災に向けた連携と啓発	防災に関する啓発活動実施回数	●	各種防災訓練、イベント等における啓発活動実施回数	21回	20回以上	
取組28 水処理センターの良好な放流水質の確保	計画放流水質適合率	●	計画放流水質を満足した水質測定回数／下水道法に基づく水質測定の回数×100(%)	100%	100%	計画放流水質が定められている項目はBOD、窒素含有量及びりん含有量である。
取組29 地球温暖化対策	LED照明設備設置施設数	●	計画期間内の上下水道施設におけるLED照明設備設置完了施設数	— (R8年度～)	55施設完了	
取組33 <b>重点</b> 効果的な広報活動の推進	局公式Xのフォロワー数	●	実績(予測)値	約1,300	6,000以上	
	局公式Xのインプレッション数	●	実績(予測)値	約32万	120万以上	
取組36 <b>重点</b> お客さまへの応対における品質の向上	お客さまセンターにおける電話応答率	●	応答本数／着信本数 ※ボイススポット等のAI技術の導入による電話応答率の向上	80%	85%以上	時間外の着信、応答メッセージ中の切断は含まない。

# 中期計画(2026~2029)(案)の設定指標一覧

取組	指標名	素案から の追加 指標	解説	指標値		摘要
				R6実績	R11目標	
取組37 新たなサービスの提供等に向けた取組	引越し手続等に関する電子申請率	●	電子申請数／全申請数	34%	40%以上	開始・休止、使用者情報変更、口座振替の申請を対象とする。
取組38 人材育成の推進	職員エンゲージメント率	●	局内アンケートにおいて、 ①やりがいがあった ②成長を感じた ③局を勧めたい と回答した職員の割合により算出 (①+②+③の合計数) / 全回答数×100 (%)	68.1% (R7年度)	80%以上	本アンケートの対象は、上下水道局全職員のうち、派遣職員及び会計年度任用職員を除いた職員
取組41 <b>重点</b> 資産・施設の有効活用	資産の有効活用の収益額		上下水道事業の施設用地、管路用地等の局資産の有効活用で得られた収益額	9.4億円/年	9.8億円/年 以上	
取組42 <b>重点</b> 財政基盤の強化	経常収支比率【水道】		経常収益／経常費用×100(%)	105.4%	100%以上	
	経常収支比率【工水】			105.4%	91.0%以上	
	経常収支比率【下水】			105.1%	100%以上	